

第3回 新三国トンネル環境検討委員会

議事概要

日 時：平成26年9月5日（金）13時～14時20分

場 所：（一財）先端建設技術センター 会議室

出席者： 大島委員長 （首都大学東京客員教授）
阿南委員 （（独）土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員）
太田委員 （（公財）鉄道総合技術研究所 防災技術研究部長）
吉川委員 （群馬大学名誉教授）
古川代理 （みなかみ町 地域整備課次長）
角谷委員 （湯沢町 地域整備課長）
川端委員 （国土交通省関東地方整備局 道路工事課長）
信太委員 （国土交通省関東地方整備局 高崎河川国道事務所長）

議事概要

（1）第3回環境検討委員会の検討項目

■第3回環境検討委員会の検討項目について了承した。

（2）第2回環境検討委員会の概要

■第2回委員会での概要について、了承した。

（3）第2回環境検討委員会の意見に対する検討結果

①トンネルボーリングコア曝露試験結果について

■審議結果

○曝露試験結果により、トンネルズリの全量処理が妥当である。

②ズリ活用地の地下水集排水対策について

■審議結果

○ズリ活用地底面に面状採石ドレーン層を設ける。

③ズリ活用地盛土法面の法面保護対策について

■審議結果

○盛土法面保護対策としてコンクリート系シール工を基本とする。

○外部から搬入する砕石等については、事前に組成を確認する。

④ズリ活用地浸出水やトンネル施工中濁水の処理方法について

■審議結果

○重金属の処理については、凝集沈殿法と砂ろ過法を組み合わせる。

(4) 新三国トンネル環境検討委員会のまとめ

1) トンネル掘削ズリ処理対策

① トンネルズリ対策土量

■ 審議結果

○対策を要するズリ量は、全量（約12万m³）とする。

② ズリ活用位置

■ 審議結果

○ズリ活用計画の位置について原案どおりとする。

③ ズリ処理対策工法

■ 審議結果

○2重遮水シート工法とする。

④ ズリ活用地の地盤改良方針と施設構成

■ 審議結果

○ズリ活用地の地盤改良方針と施設構成について原案どおりとする。また、地盤の変形係数を原位置試験により確認する。

⑤ モニタリング計画

■ 審議結果

○ズリ活用地のモニタリング計画について原案どおりとする。

⑥ 漏出防止及び漏出したときの対策

■ 審議結果

○漏出防止及び漏出したときの対策について原案どおりとする。

⑦ 監視体制と各段階の行動計画

■ 審議結果

○監視体制と各段階の行動計画について原案どおりとする。

(2) トンネル施工中及び完成後の排水対策

① トンネル施工中・完成後の排水対策基本方針

■ 審議結果

○トンネル施工中・完成後の排水対策基本方針について原案どおりとする。

② モニタリング計画

■ 審議結果

○トンネル排水のモニタリング計画について原案どおりとする。

③施工中の排出水対策

■ 審議結果

○施工中の排出水対策について原案どおりとする。

④完成後の排出水対策

■ 審議結果

○完成後の排出水対策について原案どおりとする。